

## 平成18年度第3回御園地区地域審議会概要

- 1 開催日時 平成19年2月21日（水）午後7時00分～午後9時30分
- 2 開催場所 御園総合支所 3階 学習室
- 3 会議内容 諮問書の交付  
機構改革について  
総合計画基本構想・新市の一体感の醸成に関する諮問について  
合併協議にかかる調整内容変更の報告
- 4 出席委員 一蝶哲司委員、大西勝洋委員、奥本一志委員、倉世古淳子委員、戸上米子委員、中北好美委員、中西源委員、中村浩一委員、中村正委員、西村正委員、西脇英一委員、平野あけみ委員、藤原ひろみ委員、宮本隆生委員、山本健司委員
- 5 欠席委員 浦崎恵子委員、西村雅弘委員、濱口繁一委員、森真吾委員、山崎力委員
- 6 出席職員 助役、総合政策部長、政策課長、総合支所長、地域振興課長、地域振興課主査

### 7 議事概要

- (1) 審議会への諮問 助役より御園地区地域審議会に諮問書の交付  
諮問内容については別紙のとおり。
- (2) 機構改革について 総合政策推進部長より平成19年度4月の機構改革について説明

### (3) 質疑応答

委員 小俣総合支所は、19年4月より教育機能の拠点になるが御園総合支所についてはどうなるのか。

総合政策推進部長 御園総合支所は最も耐震性が優れている。そのため防災機能の拠点として考えている。

委員 機構改革により教育委員会が小俣総合支所に集約されるが、住民サービスの低下は大丈夫か。

総合支所長 施設等の貸出、施設料の納付等については地域振興課が対応することになり今までのサービスを低下させないようにする。詳細については次回の広報でお伝えする。

委員 新設される企業誘致課の内容は。

総合政策推進部長 19年度より産業支援センターを立ち上げ、朝熊山麓用地活用と合わせてより環境・健康にも配慮した企業誘致をより推進していく。

委員 地域振興課だけに皺寄せがきているような気がするが、今までの課の役割はどんなことか。

地域振興課長 地域審議会の運営、防災・防犯、個人情報公開、ケーブルTV・交通災害共済の受付などが主な業務である。

委員 総合支所における地域振興課の役割は非常に重要に思われるが、今後総合支所が規模縮小されるなかでなくなるのではないか。

総合支所長 総合支所における地域振興機能はしばらくの間残る。また19年度より廃課になる税務課が行っていた諸証明は生活環境課が、上下水道課の窓口関係については産業建設課が引き続き受け持つことになる。住民へのサービス低下をさせないためにも熟練した職員の配置を考えている。

委員 消防の広域化で職員が減少するのか。

助役 少なくなるわけではない。

(助役・総合政策推進部長・政策課長は退席し、休憩後再開)

(4) 総合計画基本構想原案・新市の一体感の醸成に関する諮問について

会長 まずは総合計画の基本構想原案に対する意見も含めて皆様で意見を出し合って頂きたい。意見のある方は挙手を。

委員 伊勢市中心部を見ていると家を壊すとほとんどが駐車場になっている。今までまちづくりを打ち出していなかったのではないか。

委員 駅前など具体的な施策が出ていないので具体的に入れてほしい。食事をしようにもほとんどないのが現状である。

委員 新道商店街は、バトミントンと自転車の練習場になっている。

委員 外宮付近もおかげ横丁のように企業がきてほしい。

委員 大切なことはお金の使い方である。日赤も移転が予定されており宮町駅付近も寂れることが予想される。

委員 伊勢市では国道から市内に入る大きな道路がない。松阪市は国道から市内に入る道路がきちんと整備されている。

委員 旧伊勢市では以前トヨタからの話があったが断った経緯がある。あのことが実現していれば今の伊勢市は今とは随分違うまちになっていたと思う。大企業がぜひ伊勢市にもきてほしい。

委員 市長は観光に力を入れているが、観光だけで市がなりたっていくのか。真剣に企業誘致を考えないと人口も増えないどころか伊勢市に人を留めておくことすらできないのではないか。

委員 神社港の計画は企業誘致の一環ですか。

副会長 あれは集客誘致の一環である。空港から1時間の範囲が都市として位置づけられているのだが、中部国際空港から1時間で伊勢に来ることができるのが船だけである。

委員 松阪市の場合は、長崎県で失敗した業者がたまたま松阪で開港するのを聞いて開業した。伊勢市の場合は大丈夫なのか。

総合支所長 中部国際空港と伊勢市を結ぶ海上アクセスを充実することで、新たな観光客の誘致を図ることにより経済効果が期待でき、又、市民の利便性にも寄与できるものと考えている。

船の周航はセラヴィ観光が責任を持って行い、市はターミナル・駐車場・航路浚渫等の基盤整備を行うものである。市の整備事業の財源については、財政運営上有利な合併特例債を充てるものである。詳細な資料については、次回の審議会に提出する。

委員 現在の伊勢市の借金はどうか。夕張市の二の舞にならないようにしてほしい。

総合支所長 伊勢市の一般会計地方債残高は、平成18年度末で約467億円である。第一回の審議会においても説明したとおり、将来5年間の財政見通しを策定し、その中にも示したよう平成22年度には、基礎的財政収支を黒字化を目標に取り組んでいるので、ご理解いただきたい。また、企業会計等の地方債残高の状況については、次回の審議会に資料を提出する。

委員 私設消防団のことだが今後手当ても少なくして将来的にはボランティアでという話が出ていると聞いたが・・・。

副会長 各委員の方からいろいろな意見を出していただいたが、やはり現状認識に対して個人差があると思う。そこで勉強会を開いてはどうだろうか。今回の総合計画基本構想原案と前回の新市の一体感の醸成。一体感の醸成が「市民参画・市民活動支援」、「分権型社会の構築」、「コミュニティの形成・地域振興」の3つに分かれているのでそれぞれ委員会を作って委員の皆さんを分けさせていただきたい。

委員 3つのことは関連があるのではないか。

委員 6・7人の少人数だと小さな意見を出しやすいのでありがたい。

委員 勉強会はあったほうがいいと思う。

会長 さきほどの副委員長からの提案についてどうだろうか。

(一同異議なし)

委員 先ほどからハード面のことが言われているが、子供の育て方などのソフト面も大切であると思う。旧御園村は一村一校であったこともあり地域で子供たちを育てていた。地域に根ざした学校を作っていただきたい。京都では「将来の町衆を」ということでコミュニティスクールがある。教育現場にいて形式的なイベントが多いのが気になる。伊勢市として将来子供たちをどう育てていきたいのか打ち出してほしい。それに必要なものは何かを。まちを整備するだけでは不十分である。

委員 伊勢市は伊勢神宮に頼りすぎていると思う。度会郡では教育予

算は聖域であった。市で市民体育館がないのは伊勢市だけである。

委員 先ほどの教育面に関していえば、校舎の改修などハード面に追われている。財源がないならしないで考えていくべきである。

会長 予定時間も過ぎてしまいました。今後の地域審議会だが、事務局より本年度予算的に一回分残っていると聞いている。総合計画基本構想原案についての意見を事務局でとりまとめ御園地区地域審議会として答申案を作成し、次回3月23日(金)に予定の第4回御園地区地域審議会では答申書案をお示ししたいと考えている。事務局としてはいかがか。

地域振興課長 問題ないです。

会長 次回の地域審議会までに三つの委員会に分かれて任意の勉強会を行いたい。その際にも総合計画基本構想についての意見を言っていただいても結構である。ただ勉強会については非公式な会議とさせていただきたい。事務局には本日委員の皆さんから質問が出たが本日回答できなかった分については次回の勉強会までにご回答いただきたい。

地域振興課長 総合計画基本構想原案に関する意見について答申の原案作成のご指示をいただいたので、答申案を次回の地域審議会までに作っていきたい。

(5) その他 地域振興課長より合併協議にかかる調整内容の変更について報告

終了